

〔科目名〕 経済演習Ⅰ				〔単位数〕 2 単位		〔科目区分〕 演習科目	
〔担当者〕 榑 克裕						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 地域経済を学ぶ							
〔演習内容〕 この演習では、地方財政論のテキストの輪読(テキストの指定箇所を学生の皆様に発表してもらう)を行いたいと思います。また、経済演習Ⅱでは地域経済学のテキストを輪読予定です。 地方財政論は、ミクロ経済学やマクロ経済学を学んだ上で学習する応用科目の位置づけになっています。地方財政論を学ぶことで、地方自治体(都道府県・市町村)の地域経済に果たす役割や課題について、体系的に理解することができます。同様に、地域経済学も応用科目です。地域経済学を学ぶことで、地方から都会への人口移動、企業の立地行動、地価の決定等のメカニズムを理解できます。 地方財政論や地域経済学を学んで、将来的に地域経済を中心的に担っていく人材となってくれることを期待しています。							
〔科目の到達目標〕 ・輪読での発表を通して、プレゼンテーション能力を身につける ・地域経済についての体系的な理解を深める。							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2 ○	DP3 ○	
〔前提条件〕 ミクロ経済学、マクロ経済学、日本経済概論、財政学を履修していること（各科目の単位を修得していれば尚可）。							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 授業における発表と参加で評価します。							
〔教科書等〕 菅原宏太・松本睦・加藤秀弥著『地方財政の見取り図』 有斐閣ストゥディア 2023 年							
〔実務経歴〕 旧通産省							
授 業 スケ ジ ュ ー ル							
時期	テーマと内容						
第1回 第2回	イントロダクション(授業の進め方・レジュメの作り方・発表の際の留意事項)						
第3回 以降	テキストの輪読						
第 15 回	課題についての発表・討論						